
IS 《インフィニット・ストラトス》 唯一の痛み

サーシェス

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

インフィニット・ストラトス
IS唯一の痛み

【Nコード】

N9353X

【作者名】

サーシエス

【あらすじ】

肉体の痛みを感じることでできない少年は少女を救い死んだはずだった。

だが目が覚めると自分は赤ん坊に……

2度目の人生の中、少年は何を思うのか……

駄文ですがよろしく願います。

プロローグ（前書き）

はじめまして、サーシエスともうします。

インフィニット・ストラトス
IS復讐する紅き傭兵の息子
インフィニット・ストラトス
IS紅き傭兵の息子

は今日投稿できると思います。

最近不定期になりがちですがよろしく願います。

プロローグ

プロローグ

私の肉体は『痛み』を感じることができない。

このことを聞いてうらやましいと思つものもいるだろう。

だが、私にも唯一感じる事のできる『痛み』があるそれは……

『心の痛み』

これが唯一感じることできる『痛み』

誰も理解してくれぬ事のない『痛み』。

そして誰もこの『痛み』からは救ってはくれなかった・・・

私は車道で車に轢かれそうになっている少女が視界に入った。

気づいた時には私はその子を押し飛ばし、代わりに大きな衝撃を受けた。

空を舞った肉体が地面に落ちた、だが痛みは感じない。

ただいつもと違うのは、急速な眠気が襲ってくる事。

どんなに起き上がろうとしても動かないからだ。

この時、理解した。

私は死ぬのだと

そう思うと、どこか心地よくなった。

大人と助けて子供が何かを言っている中、私は目を閉じた。

『あなたにはまだ生きていて貰います』

そんな声を聞き、私は死んだ……

「名前は決まったのか？百合子」

「清司さん。この子の名前は玲二。森次玲二よ」

はずだった……

プロローグ（後書き）

誤字脱字・ご感想がありましたらよろしくお願ひします

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9353x/>

IS《インフィニット・ストラトス》唯一の痛み

2011年10月26日02時05分発行